

IEEJ Industry Applications Society News Letter

電気学会産業応用部門ニュースレター 2005年9月号

「産業応用部門研究調査運営委員会の活動紹介」



電気学会産業応用部門研究調査運営委員会委員長
齋藤 涼夫 [(株) 東芝]

電気学会には色々な活動がありますが、最も特徴的な部門活動として、部門を構成する技術委員会によって企画・実行される研究調査活動があります。この研究調査活動の目的は、電気学会調査研究規程の第1条に「研究調査活動は、電気学術およびその応用に関し、専門的立場から研究調査を行い、産業ならびに民生文化の発達に寄与する具体的方策をたて、当該技術の発達、普及に貢献することを目的とする。その活動は主に専門委員会を通じて行われ、技術報告などにより広く会員に浸透、周知を計ると共に、研究会、講演会、大会などの開催を通じ、巾広い会員の直接参加により行う。…」と謳われています。

D部門研究調査運営委員会は、D部門におけるこの研究調査活動を主体となって行うことをミッションとしていて、具体的には技術委員会で企画される調査専門委員会・協同研究委員会の新設・解散、技術委員会内の各種委員会活動と研究会などの技術会合活動、更に技術委員会が他の部門・学会などと共催・協賛する技術会合などについて審議・承認することを主な業務としています。

D部門には最も新しく創設された自動車技術委員会を含めて13の技術委員会があります。平成15年度、16年度の

実績から活動成果の概要を見てみますと、活動している調査専門委員会・協同研究委員会数は常時50委員会前後、技術委員会により開催される研究会数は年間50件前後、調査専門委員会などの活動成果として発行される技術報告の販売部数は年間4,000部前後、研究会で発表される論文数は年間800件前後（最終的にD部門論文誌に掲載される論文数は年間200件前後）、そして研究会論文が掲載されている研究調査資料の年間予約件数は毎年1,400件弱の規模で活動を展開しています。

D部門研究調査運営委員会は、論文査読および論文誌の発行を担当する論文委員会と、ニュースレターの編修・発行、ホームページ・部門大会における子供理科教室などの広報を担当とする編修広報委員と共に、部門を支える主要な委員会です。今年度からそれぞれの委員会の特定の委員が他の委員会の委員を兼ねるように計画し、これら3委員会の連携を更に強化して活発な部門活動を行っていきたいと考えています。

D部門会員の皆様の積極的なご参加とご支援をよろしくお願いいたします。